

# 町村週報

(町村の購読料は会費)  
の中に含まれております)

## 2663号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

もくじ

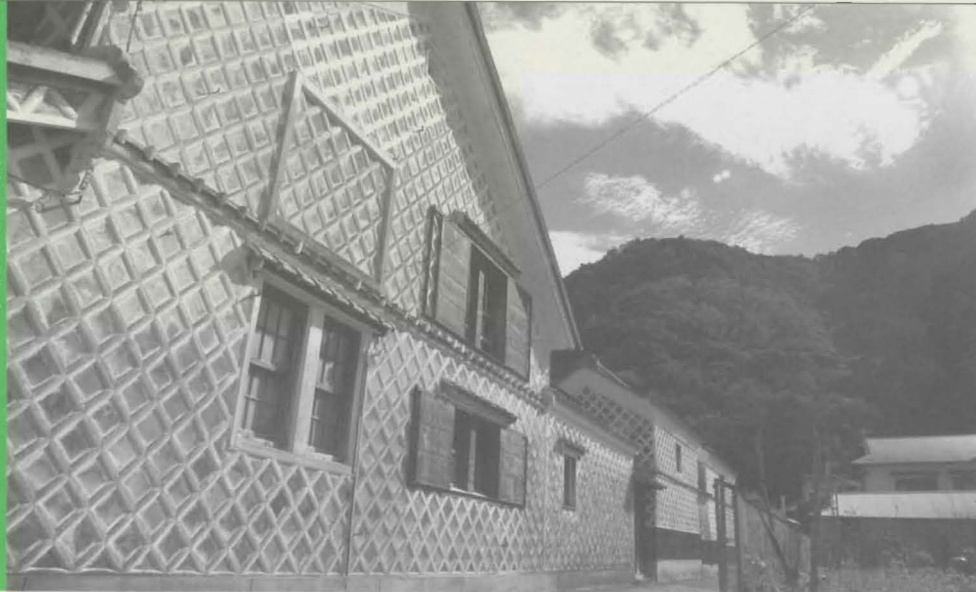
|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 随 | 随 | 情 | 情 | 政 | 政 | 活 | 活 |
| 想 | 想 | 報 | 報 | 策 | 策 | 動 | 動 |

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| 21年度政府予算編成で実行運動Ⅱ全国町村会       | (2)  |
| 山本全国町村会長が意見陳述Ⅱ第29次地方制度調査会総会 | (4)  |
| 地方分権改革推進委員会が第2次勧告           | (6)  |
| 第三セクターなどの整理等で報告書Ⅱ総務省        | (9)  |
| 町村Navi                      | (10) |
| 町村週報主要索引(7月~12月)            | (12) |
| 歴史と文化の薫るまち                  | (14) |
| 「良き道たごれば、良き里あり」といにしえに云う     | (15) |
| 静岡県町村会長 松崎町長 深澤 進           |      |
| 兵庫県猪名川町長 真田 保男              |      |

### 写真キャプション

「なまこ壁」は、建物の壁面に平瓦を並べ、めじに漆喰をかまぼこ型に盛り上げた民家・土蔵などの外壁様式。静岡県内では、松崎一帯と下田周辺にかけて見られるが、生活様式の変化や老朽化により、年々その数は減ってきている。最近では、このなまこ壁の日本的な独特の美しさと有効性が改めて見なおされつつある。

なまこ壁通り(静岡県松崎町)



### 閑話

## 自治体の幹部と議員にブックスタートを

九州大学大学院法学研究院教授 木佐 茂男

高等教育は進んだはずなのに、相変わらず「読み書き算盤」の世界に弱い自治体職員や首長、議員が少なくない。漢字が正確に読めない政治の最高責任者もいるやに聞く。

人口10万人近い市の市長が、女性だけの集まりでの挨拶の中で、事前に職員がルビをふっておかなかったばかりに、「団塊の世代の皆様」を「だんこんの世代の皆様」と読んでしまった。「塊」と「魂」の読み違いである。議会で質問書、答弁書とも大きな文字にルビだらけという市町村も珍しくないようである。

最近では、議員の立候補者になるにあたって、公務員の初級試験に合格していることを要件とすべし、という議論も出てきた。日本の行政全体の「キョーヨー」度が問われている。

先頃、北海道恵庭市長の中島興世氏に、九州の自主研究会主催による職員・議員・市民向けの自治体法務入門講座で特別講演をお願いした。同氏の講演の圧巻は、乳児のときから本に親しむようにするブックスタート事業の驚くべき成果

であった。ブックスタートは、1992年にイギリスで始まった。日本で最初に施行したのが、中島氏がアイデアを出した恵庭市である。ブックスタートは単なる読みかき運動ではなく、子育てや人間づくりの基礎的な役割を担っている」として、同市はこの事業を行政の重要な柱に位置づけている。この市では、年に百冊の本を読む児童は普通の子。読書習慣の付いた子どもたちは、小学校に入学するとまず図書室に行きたがるという。そして、同市内の小中学校では不登校、いじめなどが減り、校長会で生徒指導が問題になることはなく、周辺自治体の教員にとってダントツの転勤希望先だといひ、ある教員家族が同市に転居してきたという極めてつけの例も生まれた。

小さい頃からの読書環境と読書習慣は、どっつやら思考力も鍛え、空恐ろしい勢いで潜在力を開発しているようである。字も十分に読めない自治体幹部や議員に、高卒程度の学力試験とブックスタートを是非とも普及させたいものである。